

7. 参考資料

7-1 英略語一覧

略語	英語	日本語（意味）
ARINC 429	Aeronautical Radio INC. 429	（航空機用のシリアルデータバスの標準規格の一つ）
ASE	Automatic air Sampling Equipment	自動大気採取装置
CARIBIC	Civil Aircraft for the Regular Investigation of the Atmosphere Based on an Instrument Container	（旅客機観測プロジェクト名）
CME	Continuous CO ₂ Measuring Equipment	CO ₂ 連続測定装置
CMM	Component Maintenance Manual	部品整備マニュアル
CONTRAIL	Comprehensive Observation Network for TRace gases by AirLiner	（旅客機観測プロジェクト名）
DAR	Designated Airworthiness Representative	FAAから委任された代理人（調査、試験、検査）
DER	Designated Engineering Representative	FAAの審査代理人（承認、承認推薦）
DOT	United States Department of Transportation	アメリカ合衆国運輸省
EMC	Electro Magnetic Compatibility	電磁両立性
EMI	Electro-Magnetic Interference	電磁波干渉
FAA	Federal Aviation Administration	米国連邦航空局
FAR	Federal Aviation Regulations	連邦航空規則
GC/FID	Gas Chromatograph equipped with Flame Ionization Detector	水素炎イオン化検出器を備えたガスクロマトグラフ
GC/HgO	Gas Chromatograph equipped with HgO	酸化水銀検出器を備えたガスクロマトグラフ
IAGOS	In-service Aircraft for a Global Observing System	（旅客機観測プロジェクト名）
INSTAC	InterNational Strato/Tropospheric Air Chemistry	（旅客機観測プロジェクト名）
JAL	Japan Airlines	日本航空
JAS	JAPAN AIR SYSTEM CO., LTD	東亜国内航空
JCAB	Civil Aviation Bureau of Japan	国土交通省航空局
MilSpecs	Military Specification	アメリカ国防総省仕様書
MRI	Meteorological Research Institute	気象研究所
MOZAIC	Measurement of Ozone and Water Vapor by Airbus In-Service Aircraft	（旅客機観測プロジェクト名）
NDIR	Non-Dispersive Infrared analyzer	非分散型赤外分析計
NOXAR	Measurements of Nitrogen Oxides and Ozone Along Air Routes	（旅客機観測プロジェクト名）
PFIDS	Passenger Flight Information Display System	（旅客機の客室モニター映写のシステム）
RTCA	Radio Technical Commission for Aeronautics	米国航空無線技術委員会
STC	Supplemental Type Certificate	追加型式設計承認
TOTCAP	Tropospheric Ozone and Tracers from Commercial Aircraft Platforms	（旅客機観測プロジェクト名）

7-2 年表

年月日	出来事
1989年3月	INSTAC-I（航空機観測）実施
1990年4月1日	日航財団設立
1990年2月～3月	INSTAC-II（航空機観測）実施
1990年8月	INSTAC-IIの記事掲載（気象研究所ニュース8月号）
1990年10月	INSTAC-III（航空機観測）実施
1990年12月21日	事務連絡回覧（「アイデア募集」）
1991年3月5日	JAL機観測提案の会議（羽田空港のJALのハンガーにて）
1991年4月	Nakazawa et al. (1991)論文出版
1991年4月16日	JAL技術研究所との初会合（気象研究所にて）
1991年5月8日	日航財団との初会合（日航財団にて）
1991年9月	第1期大気観測プロジェクトの発足
1991年9月5日	気象研究所とJAL技術研究所との間で技術会合
1991年9月18日	気象研究所とJAL技術研究所との間で技術会合
1992年1月5日～10日	メタン国際会議（米国カリフォルニア）
1992年1月29日	試験飛行（採取空気比較実験）
1992年3月13日	第1回の地球環境観測検討委員会
1992年11月～1993年3月	耐空性試験（第1期ASE開発）
1993年4月9日	試験飛行（実機における耐空性試験）
1993年4月23日	初ASE観測フライト（JL764便、JA8127機）
1994年7月15日	試験飛行（JA8131機による機内圧調査）
2003年1月7日	第2期開発チームの初会合
2003年1月22日	第1回技術会合
2003年2月6日	第2回技術会合
2003年2月28日	科学技術振興調整費プロジェクトの申請
2003年6月3日	プロジェクト内定の通知
2003年8月5日	第2期ASE開発プロジェクトのキックオフ会合
2003年12月12日	ASE製作開始（発注）
2004年7月	改良型ASE製作の完了
2004年8月18～20日	1回目の振動試験
2004年8月23～24日	静強度試験（公益財団法人鉄道総合技術研究所にて）
2004年8月24日～9月8日	温度・湿度試験（JAMCO調布工場にて）
2004年9月6日	高度試験（日本電子部品信頼性センターにて）
2004年9月2日	2回目の振動試験（再試験）
2004年10月4日	急減圧試験（JAMCO立川工場にて）
2004年12月	加圧試験（JAMCO調布工場にて）
2005年2月14日	米国での耐空性試験（ITL社にて）開始
2005年10月	機体改修開始（成田空港のJAL格納庫にて）
2005年10月20日	試験飛行（実機における耐空性試験、JA8917機）
2005年10月26日	FAAのSTC発行
2005年11月2日	JCABのSTC発行
2007年10月12日	ASEの特許出願
2012年9月	メタン同位体の論文出版（Umezawa et al., 2012）
2016年11月5日	Ralph J. Cicerone教授 死去